

- ② 学び合いの場の工夫
- ④ 教師の支援

- ① 体ほぐしの運動

- 自己決定の場の設定
- ② 学び合いの場の工夫
- ③ ポートフォリオによる評価の累積・活用
- ④ 教師の支援

- ① 体ほぐしの運動
- 自己決定の場の設定
- ② 学び合いの場の工夫
- ③ ポートフォリオによる評価の累積・活用
- ④ 教師の支援

学習活動・内容		留意点							
<ul style="list-style-type: none"> <li>• ポイントを確認し協力して進める。</li> <li>• 技のでき具合を発表し合う。 (自己評価・相互評価)</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>○ できるよう支援する。</li> </ul>							
<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;">           第2・3・4時 新しい技のポイントを理解し、 友達と協力して行い、できる技を増やそう         </div>									
新 し い 技	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="text-align: center;">第2時</td> <td>跳び前転 伸膝後転 倒立前転</td> <td rowspan="3" style="text-align: center; vertical-align: middle;"> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;">               やりたい技を自己決定し、練習する。             </div> </td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">第3時</td> <td>側方倒立回転 ロンダード</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">第4時</td> <td>伸膝前転 前方倒立回転</td> </tr> </table>	第2時	跳び前転 伸膝後転 倒立前転	<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;">               やりたい技を自己決定し、練習する。             </div>	第3時	側方倒立回転 ロンダード	第4時	伸膝前転 前方倒立回転	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 体ほぐしの運動を楽しむ。</li> <li>○ 自分のできる技を練習する。</li> <li>• 技のポイントは何かを押さえ、その技についての自分の課題を設定し練習する。</li> <li>○ 自分の興味・関心に応じ、自分で決定した新しい技に挑戦する。</li> <li>• ポイントボード、アドバイス表、学習カード、技の一覧表、VTRなどを活用したり、友達と協力して互いに演技を見合って教え合い、各技のポイントを理解して練習する。</li> <li>• 友達と協力してセーフティマットや踏切板などの用具を活用し段階的に練習する。</li> </ul>
第2時	跳び前転 伸膝後転 倒立前転	<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;">               やりたい技を自己決定し、練習する。             </div>							
第3時	側方倒立回転 ロンダード								
第4時	伸膝前転 前方倒立回転								
<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;">           第5・6時自分の連続技をつくり、発表会をしよう         </div>									
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 体ほぐしの運動をしながら、本時への意欲を高める。</li> <li>○ 今までの活動を生かして、自分の連続技を工夫・決定し練習する。</li> <li>• 友達の技を見合い、つなぎの技を工夫する。</li> <li>• 身につけた技と学び方を生かす。</li> <li>○ 発表会を行う。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>○ ポイントボードやVTRなどを活用させ、技を見る目を養わせる。</li> <li>○ 一人一人がポイントを押さえて活動しているか確認し、必要に応じて支援する</li> <li>• 学び合い停滞、ポイント未習得などの状況を把握し手だての活用、段階的練習の工夫、よさの承認、幫助で指導・支援する</li> <li>○ 課題解決に必要な活動の場を工夫できるよう支援する。</li> <li>○ VTR、アドバイス表、学習カードなど、自己・相互評価を累積し、技能習得状況や学び方の変容を把握するなど、その活用を図る。</li> </ul>							